

モニタリング結果報告書（平成24年度上半期）

施設	相模湖交流センター
指定管理者	アクティオ株式会社
指定期間	H23. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課	土地水資源対策課（ ）

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

自主事業は提案を上回る取組みを実施し、今期は利用者数が前年対比で7.6%増加しており、ホールの利用率も目標8割を超え、9割近くになっているが、ギャラリーの利用率が目標の65%に10ポイント以上届いていない。館の管理運営については、利用者にも好評を得ており、節電など経費の節減等により良好な収支状況である。これらのことを総合的に勘案してB判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月17日	5月24日	○	×	×	無	
5月	6月15日	6月27日	○	×	×	無	
6月	7月20日	7月30日	○	×	×	無	
7月	8月10日	8月17日	○	×	×	無	
8月	9月18日	9月25日	○	×	×	無	
9月	10月15日	10月19日	○	×	×	無	

### 3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<p>提案内容の要旨を記載 「アクアロジカル・コミュニティーセンター」すなわち、(1)平和・友好・共生のシンボルとして、(2)水源地域の自然の保全をPRする場として、(3)活性化のためのハブ機能として、(4)豊かな自然、美しい水と触れ合う場所及び(5)様々な交流の場を提供する「コミュニケーションセンター」として、多様な自主事業を開催し、サービス向上により利用者の拡大を図る。</p>	<p>○地元利用(ダム追悼会、文化祭、敬老会、合唱連盟・ピアノ教室・中学校吹奏楽部発表会等)に最大限配慮しながら、ホールについては月2回程度のコンサートを開催、ギャラリーについても水源地の美術家シリーズを開始する等、自主事業を概ね計画どおりに実施した。 ○同事業では、被災地福島の子供達30名をコンサートに無料招待したり、また水源地に知的障がい者のための施設が多いことから、毎回低料金をコンサートを同施設の利用者に提供している。加えて相模ダム建設にはアジアの方々の尊い犠牲があった歴史的背景を踏まえ、4月に中国の音楽家のコンサートを開催した(1月、3月には韓国の音楽家を招聘予定)。その他、8月1日の相模湖最大の行事である湖上祭と連携し、多くの水源地以外の方々を相模湖(花火)に招くため、午後にジャズコンサートを開催した。結果、都心や旧相模原市の利用者から同コンサートについて毎年開催の要望があった。 ○特筆すべきものとして、9月に水源地の自然、水と緑を活かした2泊3日のジャズワークショップ(さがみこ音楽創造ワークショップ)をはじめ開催。受講生の宿泊地を湖畔キャンプ場とする等の水源地の特徴を意図したイベントが講師や受講生から大好評のため、来年以降の継続開催を強く希望されている。またホームページ「やまなみ5湖navi」にも特集記事が組まれるなど注目され、イベントを通じて水源地をPRした。</p>
2	<p>提案内容の要旨を記載 ・水源地域の自然の保全をPR 県民の水がめである相模湖の環境の大切さをPRする。 ・活性化 地元の賑わい効果等を意図してコンサート等を開催し、相模湖や周辺地域の活性化を図る。 ・豊かな自然、美しい水とふれあう コンサート等を通じて、都市地域の住民に相模湖の豊かな自然とのふれあいを図る。 ・多様な交流 (相模川)上流域と下流域の方々の交流など 様々な交流の場を提供する。</p>	<p>(実績) ・水源地域の自然の保全をPR 「加藤世紀の世界」(8月4日～19日)参加者688人 ・活性化 「ハーモニカワークショップ」(8月4/5/12/18/19日)参加者21名 ・豊かな自然、美しい水とふれあう (1)ピース綾部のお笑いコンサート(6月3日)参加者156人 (2)今井ゆうぞう&amp;山岡ゆうこファミリーコンサート(8月18日)参加者170人 (3)猪俣猛&amp;ザ・サード(8月1日)参加者124人 (4)国府弘子ジャズコンサート(9月21日)参加者69人 (5)さがみこ音楽創造ワークショップ(9月21日～23日)参加者29人 ・多様な交流 (1)チェンミン二胡コンサート(4月1日)参加者265人 (2)遠藤征志ピアノワールド(5月20日)参加者127人 (3)大野俊三ジャズコンサート(6月1日)参加者136人 (4)山形ゆう子の歌声サロン(7月19日)参加者54人 (5)佐藤彦大ピアノコンサート(7月21日)参加者71人 (6)夏休みワークショップ(8月4日～19日)参加者210人 (7)東京フィルクラシックコンサート(弦楽合奏団 9月17日)参加者93人</p>

#### 4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		80,055	6,300	525	86,880	86,880	0
予算額	前年度	80,470	6,200	525	87,195	87,195	0
	上半期	40,230	3,100	225	43,555	43,555	0
	下半期	40,240	3,100	300	43,640	43,640	0
	今年度	80,055	6,300	525	86,880	86,880	0
	上半期	40,020	3,200	225	43,445	43,445	0
	下半期	40,035	3,100	300	43,435	43,435	0
上半期実績額	4月	6,670	432	23	7,125	5,853	1,272
	5月	6,670	445	14	7,129	5,445	1,684
	6月	6,670	571	11	7,252	6,035	1,217
	7月	6,670	803	24	7,497	6,345	1,152
	8月	6,670	362	18	7,050	6,777	273
	9月	6,670	347	12	7,029	6,085	944
	今年度 上半期合計	40,020	2,960	102	43,082	36,540	6,542
	前年度 上半期合計	40,230	3,805	72	44,107	34,552	9,555
	対前年度上半期比				▲ 2.3%	5.8%	

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

③

#### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度上半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	○	収支差額が支出額の1割以上の増となっている理由は、収入については9割近くのホール利用率で利用料金収入がほぼ予算どおりであるが、支出については修繕費が下半期の予定で、宣伝費についてもパンフレットを作成していないことその他節電等による経費節減に努めたことによる。
③ 収入額又は支出額が前年度上半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

#### <参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期	0	
下半期	1,123	冷温水ポンプ他分解整備工事1件（冷温水1次ポンプオーバーホール（3台）、冷温水2次ポンプオーバーホール（4台）、空気エア抜き弁交換及び加圧給水ユニット整備）
合計	1,123	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額 (千円)	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0 (期首)	
	0 (期末)	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	4,281 人	2,537 人	68.7 %
5月	3,473 人	2,620 人	32.6 %
6月	4,342 人	3,307 人	31.3 %
7月	4,974 人	4,588 人	8.4 %
8月	4,372 人	5,645 人	▲ 22.6 %
9月	3,226 人	4,230 人	▲ 23.7 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	— 人	24,668 人	22,927 人	— %	7.6 %
今年度下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %

※ 目標値 ホール80%、ギャラリー65%  
 実績 ホール89.1% (131/147)、ギャラリー52.9% (83/157)

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度上半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	×	該当なし
② 今年度上半期の利用者数が目標利用者数を下回った	—	ギャラリーの利用率が目標を下回った理由は、予定のコンサートや展覧会が出演者の事情により延期となったためである。 下半期には「相模湖いきもの展」開催のほか延期された事業の実施により対応していく。
③ その他特記事項		

## 6 苦情・要望等の状況

受付件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数 下段：報告件数の うち所管課受付分	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )

## 7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

## 8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

## 9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
( )		
( )		
( )		

## 10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

<p>○今期も地元地域の声を反映させて音楽を中心に水源地に立地する施設の特徴を活かした事業を実施したほか、新たな利用者層の拡大を図るため若手芸人によるトークショーや、さがみこ音楽創造ワークショップなど水源地相模湖のPRを強く意識した取組の結果、利用者数が前年対比で7.6%増え、ホールの利用率も目標を超える89.1%となった。このことは大いに評価できる。</p> <p>○引き続き、利用者の満足度が高い事業の実施や利用者に配慮しながらの節電等の運営に努めながら、さらなる利用者増や施設の利用率が向上するような取組（友の会設立など）に期待したい。</p>
--